

防護柵取替工 作業手順

準備工

既設防護柵撤去

埋設物がある場合 試掘

防護柵取付

発生材の片付け

後片付け

内 容	留 意 事 項
作業打ち合わせ（KY活動） 作業内容、人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検 埋設物の有無の確認	安全ミーティング日報による 指示書の内容確認 通信管路図の確認 チェックリストの作成
破損した既設ガードレール、（ケーブル）の撤去 破損した支柱は、支柱の根本へワイヤーを掛けクレーンを使用して、ゆっくり引き抜く。 支柱が抜けない場合は支柱の根元を人力で掘削し前後の支柱にワイヤーを掛けチェーンブロック等で引っ張り支柱の根元を緩めクレーンで引き抜くまたは、支柱に穴をあけて鉄棒を挿入し油圧ジャッキで引き抜く	レール、ケーブルの跳ね返り等を防止するためにロープ、ワイヤー等で固定して作業する クレーンでの引き抜きは玉掛ワイヤーの破断等があるので十分注意で行う。 また、クレーンで引き抜く場合はクレーンの定期点検、自主点検は必ず行う。 外した防護柵は、現場内の邪魔にならない箇所に整理整頓しまとめて置く。 ボルト、ナットの飛散防止を行う。
支柱を交換する時は、埋設ケーブルを確認する為、試掘を行う。 支柱が傾き修正で直る時は、試掘（立ち会い）は、不要である。	埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、関係部署の立ち会いを受ける。
新しい、支柱、ガードレール等の取付 新しい支柱は元の穴へ差し込み、打ち込み機を使用し所定の高さまで打ち込む。 打ち込んだ支柱の高さ、方向の確認 支柱の傾き修正は、クレーンと滑車を使い通りを確認しながら行う。	ガードレールを持つときは、声を掛け合い姿勢など十分注意をする。 クレーン等の作業半径内は十分注意し、有資格者による作業を行う。
整理整頓された、発生材をトラックに積み込む。	クレーン等の作業半径内は十分注意し、有資格者による作業を行う。 吊り荷の下へは絶対に入らない。
使用した道具、機材、余った材料を片付け、最後に竹ぼうきで清掃する。 終礼の実施	使用した道具、材料等忘れ物が無いように確認する。 安全ミーティング日報による

注意事項

機械作業は、有資格者が操作を行う。
ガードレール等重量物は、足などへの落下に十分注意をする。
取り外しの時は、特に方向、跳ねに注意をし必ず声を掛ける。
埋設物の確認は必ず行い、立ち会い確認を受ける。
吊り荷の下へは絶対に入らない。
重量物を持つ場合は、姿勢に十分注意をし無理をしない。
支柱の引き抜く場合は、クレーンで引き抜きながら支柱をハンマーでたたかない
移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する
車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。